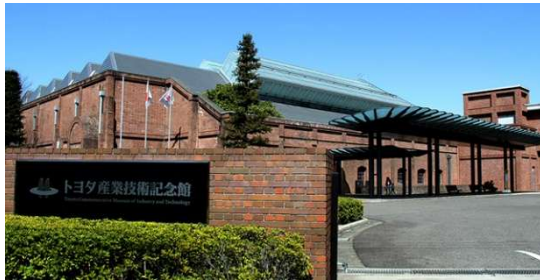


中部のおすすめの店紹介、観光案内 第3回

寺本諭史

「モノづくり」の盛んな地域である中部エリアには、各産業に関わる技術資料館・博物館が数多く存在します。今回は、そのような技術資料館について紹介したいと思います。

● トヨタ産業技術記念館（愛知県名古屋市）



トヨタ産業技術記念館は、豊田自動織機工場を産業遺産として保存活用しながら、トヨタグループの共同事業として1994年に開設された産業博物館です。名古屋駅からも近く交通の便利な場所にあります。

（写真は <https://www.tcm.it.org/> より）

館内は大きく分けて「繊維機械館」と「自動車館」の2つから構成されています。

大正時代に建てられた紡織工場、建屋を使用した「繊維機械館」には、歴代の繊維機械が約90台展示されています。豊田佐吉が発明したG型自動織機も展示されています。

広大な展示面積の「自動車館」では、自動車のしくみと構成部品、自動車技術、生産技術などについて幅広く展示されています。スタッフによる稼働実演や、ボタン操作で動く部品のカットモデル、解説映像など、技術を体験できるのもいいですね。

また、「テクノランド」も併設されています。ここでは、繊維機械や自動車などに使われているメカニズムの原理やしくみを、ゲーム感覚で楽しみながら体感でき、特に子供に人気の施設です。

なお、トヨタの歴史文化施設としては、トヨタ産業技術記念館の他にも、トヨタ博物館（愛知県長久手市）、富士モータースポーツミュージアム（静岡県駿東郡小山町）、トヨタ会館（愛知県豊田市）、トヨタ鞍ヶ池記念館（愛知県豊田市）、豊田佐吉記念館（静岡県湖西市）がありますので、ご興味がある方はチェックしてみてください。

● ノリタケの森（愛知県名古屋市）



ノリタケの森は、近代陶業発祥の地であるノリタケ本社敷地内に陶磁器に関する複合施設として2001年にオープンしました。

こちら名古屋駅からも近く交通の便利な場所にあります。

（写真は <https://www.noritake.co.jp/mori/> より）

「文化と出会い、森に憩う」をテーマに、歴史を感じる建物や豊かな緑が印象的です。

園内には、ノリタケの歴史や技術・製品などを紹介するウエルカムセンター、クラフトセンター、明治時代に作られた豪華な花瓶や洋食器などを展示しているミュージアムなどがあります。クラフトセンターでは、お皿やマグカップなどに絵付けを体験できるコーナーもあります。ホームページでは、モデルコースが複数紹介されており、滞在時間に合わせた楽しみ方ができそうですね。

● あいち航空ミュージアム（愛知県西春日井郡豊山町；県営名古屋空港内）



あいち航空ミュージアムは、県営名古屋空港内にあり、「航空機産業の情報発信」、「航空機産業をベースとした産業観光の強化」、「次代の航空機産業を担う人材育成の推進」を目的としたミュージアムです。

（写真は <https://aichinow.pref.aichi.jp/>より）

このミュージアムでは、大画面スクリーンと動く座席により愛知県周辺の自然や都会上空を飛ぶ仮想体験ができる「フライングボックス」や、パイロットシミュレーター体験や整備士体験の「職業体験」、航空機が飛ぶしくみを実験や工作を通じて楽しく学ぶ「サイエンスラボ」などの体験プログラムが充実しています。

屋上の展望デッキからは、離着陸する航空機を間近で見ることができます。滑走路までの距離は約300mと日本一？近いそうです。

またその他に、中部エリアには、航空機に関する施設として下記の施設などもあります。

・**岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（岐阜県各務原市）**：日本最大級の航空と宇宙の専門博物館です。30機以上の実機に加え、世界で唯一現存する旧陸軍の三式戦闘機「飛燕（ひえん）」が展示されています。

・**フライト・オブ・ドリームズ（愛知県常滑市）**：セントレアに併設されている複合商業施設で、大迫力のボーイング787初号機を間近にみることができます。

技術資料館は体験型の施設も多く、大人も子供も楽しめますので、出張や旅行の際には是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか。